

特定非営利活動法人 不忘アザレア

2008－2009 シーズン 安全報告書

ご挨拶

今シーズンもみやぎ蔵王「白石スキー場」をご利用いただき誠にありがとうございました。
不忘アザレアを代表致しまして厚く御礼申し上げます。

さて、2008～2009 シーズンも無事終わり、振り返れば今シーズンも暖冬と異常気象により、利用者の皆様には大変ご不便をおかけ致しました。人工降雪で1日でも早く滑走出来る様に取り組みましたが、全コース滑走出来るようになったのは年明けからでした。

今シーズンも白石スキー場では、より使い勝手の良いリーズナブルなサービスをご用意いたしました。索道運行の基本は、「安全」であることから、毎日の点検整備・従事員の安全意識と技術の向上を図り、利用者の皆様に安心してご利用いただけるスキー場を目指します。この安全報告書をご覧ください。私達の安全への取り組みをご理解いただければ幸いです。また来シーズンのご利用を心よりお待ちしております。

特定非営利活動法人 不忘アザレア
理事長 三浦 義邦



安全方針について

もとより白石スキー場でも安全に関する規定はありましたが、平成18年10月1日の鉄道事業法の改正を受け、安全に対する意識をより高める意味から「安全管理規定」を作成し運用しています。

「輸送の安全を確保するための基本理念」

1. 一致協力して積極的に安全運行に取り組みます。
2. 「運転取扱細則」・「係員服務規程」等、法令及び規定をよく理解するよう努め、誠実に職務を遂行します。
3. 職務の遂行にあたり、確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
4. 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに「緊急体制要領」に基づき、適切な処置をとります。
5. 常に問題意識を持ち、情報は漏れなく迅速・正確に伝え、透明性を確保します。

上記の基本理念を実行するため、安全輸送の管理体制や索道施設の保守及び運行の管理の方法を作成し安全管理規定に記しております。これらはすべて利用者の安全を確保するものであると同時に、私達働く側も安全な作業を行うための大切な規定なのです。

安全に対する取り組み

シーズン前に、理事会及び白石スキー場従事員研修において「不忘アザレア安全管理規定」を説明し、輸送の安全の確保に必要な事業の実施と管理を行っております。

*スキー場オープン前の12月17日(水)にリフト係員とパトロール隊に安全研修会及び救助訓練を実施、不忘アザレア安全管理規定他を説明しました。今回は講師にスキービジネス研究所(仙台市)の五味一世氏を招き、「索道事業と安全への取り組み」と題して講習をしていただきました。また、今シーズンより白石市から借用・設置しているAEDについての講習も行いました。

*始業前に毎朝ミーティングを行い、気象状況からリフトの状態・人員配置の確認及び安全に関する情報の交換等を行い、各担当リフトの始業点検を行いました。

*シーズン中に安全委員会(安全統括管理者、索道技術管理者、索道技術管理員、他)を開き安全確保に関する議題及び保安情報の分析をし、類似した事故等を起こさない対策について協議を行いました。今後、会議の内容を委員会だけでなく全スタッフに伝達できるよう工夫したいと思います。

*シーズン中、理事長による巡回点検を行い、各リフトの安全確認及び状況を点検しました。

シーズン前の安全教育だけに留まらず、シーズン中もスキースクールスタッフと合同で救助訓練を実施しました。

来シーズンは白石市による巡回(安全点検)も実施したいと考えております。

09 不忘アザレア索道従事員安全・技術研修会



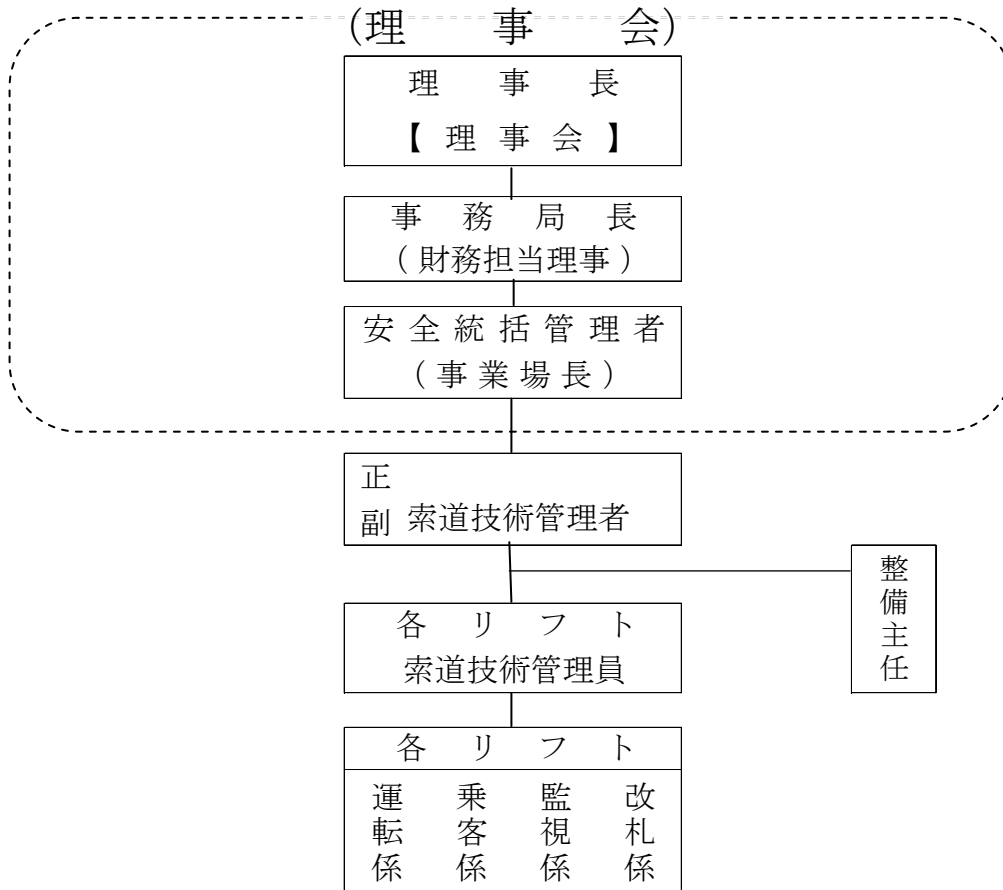
09 シーズン前リフト救助訓練



安全に関する組織体制

白石スキー場では、理事長から各リフト係員まで積極的に安全運行に取り組むため安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

白石スキー場の特殊索道に関する組織体制図



理 事 長 【 理 事 会 】	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
事 務 局 長 【財務担当理事】	輸送の安全の確保に必要な設備投資・人事・財務に関する業務を統括する。
安全統括管理者 【事業場長】	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括する。
索道技術管理員	索道技術管理者の職務を補佐する。

整備の実施について

白石スキー場では、シーズン中に保守管理計画を作成し、春から秋にかけて整備点検を実施しております。昨年度は次に掲げる主な整備を行っております。

- ・第5ペアリフト モーター、減速機オーバーホール
- ・クワッドリフト 圧索装置（搬器をロープに固定する装置）のオーバーホール 21 台
前年度の点検により山頂側受電設備のトランス交換
山麓電気設備の絶縁抵抗値の改善

本年度は昨年度の整備を踏まえ、シーズン中の具合・使用年数から次の整備を行います。

- ・第2ペアリフト モーター・減速機オーバーホール
折り返し滑車軸の交換
- ・クワッドリフト 圧索装置（搬器をロープに固定する装置）のオーバーホール 21 台
支えい索（ロープ）の切り詰め
- ・受電設備 受電設備の一部更新
その他安全と安心を確保するべく整備を進めて参ります。

※整備予算については不忘アザレアと白石市とで協議しながら進めておりますが、整備予算の捻出は、毎年決して簡単には参りません。しかし、安全が第一のサービスをモットーに整備計画を行っております。

今シーズンも天候不順等で利用者の皆様には大変ご不便をおかけ致しました。今シーズンの反省を糧に、教育訓練・整備に励み、スタッフ一丸となって皆様に愛される安全で楽しいスキー場を作りたいと思っておりますので、さらなるご愛顧とご協力をよろしくお願い申し上げます。

09 シーズン理事長・副理事長安全点検

